

今日のトピック 自動車業界の2019年度業績は？
2019年度の連結営業利益は、3社ともコロナの影響から減益
新型コロナ感染拡大の影響から業績不透明感が高まる

- 自動車大手3社の2019年度の連結売上高と連結営業利益はともに減収減益となりました。トヨタは新モデルの投入や原価低減などにも努めましたが、新型コロナの影響から小幅ながら減収減益となりました。ホンダは二輪車事業は堅調でしたが、新型コロナの影響が大きく減収減益となりました。
- トヨタグループの主要8社の2019年度の連結決算は、新型コロナの影響や自動運転など「CASE」への先行投資負担などを受け7社が減収減益となりました。
- 2020年度の業績見通しについては、トヨタは新型コロナウイルスの影響で大幅な減収減益が避けられませんが、一方で研究開発費は1.1兆円規模と過去最高水準を保ち、次世代技術への投資は継続する方針です。他社は新型コロナの影響が見通せないことから予想を見送りました。

【自動車大手3社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)	
	20年3月期		20年3月期	
トヨタ自動車	299,300	(▲1)	24,429	(▲1)
ホンダ	149,310	(▲6)	6,336	(▲13)
日産自動車	98,789	(▲15)	▲405	(-)

【トヨタグループ各社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)	
	20年3月期		20年3月期	
デンソー	51,535	(▲4)	611	(▲81)
アイシン精機	37,846	(▲6)	561	(▲73)
豊田自動織機	21,714	(▲2)	1,282	(▲5)
豊田通商	66,941	(▲1)	2,104	(▲2)
ジェイテクト	14,186	(▲7)	347	(▲48)
トヨタ紡織	13,726	(▲3)	478	(▲22)
豊田合成	8,129	(▲3)	179	(▲51)
愛知製鋼	2,423	(▲6)	139	(+25)

**【トヨタ自動車の
2020年度見通し】**

売上高 (億円)	240,000 (▲20)
営業利益 (億円)	5,000 (▲80)
為替想定 (円/米ドル)	105

(注1) カッコ内は前年同期比増減率、単位は%。トヨタ自動車は米国会計基準、ホンダ、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、豊田通商、トヨタ紡織、豊田合成は国際会計基準。

(注2) トヨタ自動車以外は新型コロナの影響が算定困難なため、20年度見通しは未発表。

(注3) トヨタ自動車の主要グループ8社は日本経済新聞社の分類による。為替想定は20年度の円/米ドル想定レート。

(出所) 各社決算資料データを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

**ここも
チェック!**
2020年5月22日 新型コロナで『1-3月期決算』▲49%経常減益
2020年3月27日 いよいよ国内で『5Gサービス』が始まる

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。